



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場会社名 株式会社エー・アンド・デイ 上場取引所 東
 コード番号 7745 URL http://www.aandd.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役執行役員社長 (氏名)古川 陽
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員管理本部長 (氏名)伊藤 貞雄 (TEL) (048)593-1111
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	7,688	3.3	△395	—	△599	—	△731	—
25年3月期第1四半期	7,445	14.7	△93	—	△396	—	△534	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △640百万円(—%) 25年3月期第1四半期 △1,011百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△34 22	—
25年3月期第1四半期	△26 43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	40,879	13,795	33.6
25年3月期	42,386	14,576	34.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 13,722百万円 25年3月期 14,513百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	7 00	7 00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		2 00	—	7 00	9 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,800	17.4	400	177.4	220	—	130	—	6 08
通期	39,200	14.2	2,300	75.7	1,950	89.6	1,700	88.3	79 56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	22,459,300株	25年3月期	22,459,300株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,091,247株	25年3月期	1,091,247株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	21,368,053株	25年3月期1Q	20,223,038株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の財政金融危機の長期化やアジア地域における成長の鈍化など懸念材料が多かった一方で、国内においては新政権と経済政策への期待感から、行過ぎた円高の改善による輸出の回復や、株価の上昇を背景とした一部消費の拡大など、明るい材料も見られる状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループでは、既存市場の深耕拡大に努めるとともに、新市場の開拓や新規顧客の獲得に注力し、市場ニーズの変化に対応した新技術・新製品の開発を積極的に推進してまいりました。また、経費面では、製造原価の低減に努めるとともに経費削減に取り組んでまいりました。

この結果、第1四半期連結累計期間における売上高は7,688百万円(前年同期比3.3%増)、営業損失は395百万円(前年同期は営業損失93百万円)、経常損失は599百万円(前年同期は経常損失396百万円)、四半期純損失は731百万円(前年同期は四半期純損失534百万円)となりました。

なお、平成25年6月に当社の子会社としてシーエム精機株式会社を新設しました。同社は同年7月に事業譲受によりウェイトチェッカー及び金属検出機の開発・製造・販売に係る事業を開始しております。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①計測・計量機器事業

日本における計量機器は、最近好調だった汎用天秤及び台秤が大きく売上を落としました。計測機器は、試験機関係は好調だった一方、熱中症指数計の需要が一巡したため前年同期並みの売上となっております。計測・制御・シミュレーションシステム(DSPシステム)は前年同期を下回る売上となったものの受注残高は増えてきており今後に期待の持てる状況となっております。

米州における計量機器は、研究機関係及び産業向けの高性能天秤が好調で売上は増加しました。計測機器は、出荷が遅れたことと試験研究費が増加したことから業績を落としましたが、今後回復に努めてまいります。

欧州における計量機器は、需要の回復を受けて売上、利益ともに持ち直してまいりました。

アジア・オセアニアにおける計量機器は、オーストラリアでは需要の低迷から不調だったものの、韓国では政府関係機関への秤を中心に売上を伸ばしました。

この結果、計測・計量機器事業の売上高は4,372百万円(前年同期比2.2%減)、営業損失は245百万円(前年同期は営業利益37百万円)となりました。

②医療・健康機器事業

日本における健康機器については引き続き新規販売ルートの開拓や新製品投入の効果により好調に推移したものの、医療機器は大口先の需要が落ち込んだことから低調な結果となりました。

米州における健康機器は、売上は伸ばしたものの、原価率が上がったために利益はほぼ前年同期並みとなりました。

欧州における健康機器は、前年同期比で円安になったこともあり円換算ベースでの売上は増加したものの、ロシアにおける販売体制強化のため販売費が増加したことから利益は減少しました。

アジア・オセアニアにおける医療機器事業は、新製品の寄与などから売上、利益ともに改善しました。

この結果、医療・健康機器事業の売上高は3,315百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益は195百万円(前年同期比19.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は40,879百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,506百万円減少いたしました。これは受取手形及び売掛金の減少が1,250百万円あったこと等により流動資産が1,401百万円減少し、減価償却を主要因として固定資産が105百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は27,084百万円となり、前連結会計年度末に比べ726百万円減少いたしました。これは長期借入金を中心に固定負債が68百万円増加した一方で、短期借入金、賞与引当金を中心に流動負債が794百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は13,795百万円となり、前連結会計年度末に比べ780百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失が731百万円、配当金の支払額が149百万円あったために利益剰余金が880百万円減少した一方で、その他の包括利益累計額が89百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社では税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,063	6,447
受取手形及び売掛金	10,615	9,365
商品及び製品	5,547	5,883
仕掛品	3,533	3,586
原材料及び貯蔵品	2,455	2,530
繰延税金資産	790	679
その他	898	1,007
貸倒引当金	△192	△188
流動資産合計	30,712	29,311
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,861	3,868
その他	4,038	4,014
有形固定資産合計	7,899	7,883
無形固定資産		
のれん	478	443
その他	1,921	1,850
無形固定資産合計	2,399	2,293
投資その他の資産	1,374	1,391
固定資産合計	11,674	11,568
資産合計	42,386	40,879
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,108	2,923
短期借入金	14,644	14,248
1年内返済予定の長期借入金	2,088	2,303
未払法人税等	143	45
賞与引当金	741	379
製品保証引当金	134	135
その他	2,831	2,861
流動負債合計	23,691	22,897
固定負債		
長期借入金	2,203	2,325
退職給付引当金	1,373	1,324
製品保証引当金	22	24
その他	519	513
固定負債合計	4,119	4,187
負債合計	27,810	27,084

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,388	6,388
資本剰余金	6,404	6,404
利益剰余金	3,785	2,904
自己株式	△772	△772
株主資本合計	15,806	14,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	3
為替換算調整勘定	△1,296	△1,207
その他の包括利益累計額合計	△1,292	△1,203
少数株主持分	62	73
純資産合計	14,576	13,795
負債純資産合計	42,386	40,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	7,445	7,688
売上原価	4,016	4,208
売上総利益	3,428	3,480
販売費及び一般管理費	3,521	3,876
営業損失(△)	△93	△395
営業外収益		
受取利息	4	11
助成金収入	3	0
受取保険金	0	19
その他	11	16
営業外収益合計	19	48
営業外費用		
支払利息	86	71
持分法による投資損失	19	9
為替差損	197	59
シンジケートローン手数料	—	50
その他	20	60
営業外費用合計	323	252
経常損失(△)	△396	△599
特別利益		
固定資産売却益	1	4
特別利益合計	1	4
特別損失		
固定資産売却損	—	3
固定資産除却損	3	1
特別損失合計	3	4
税金等調整前四半期純損失(△)	△399	△600
法人税、住民税及び事業税	△50	33
法人税等調整額	183	97
法人税等合計	133	130
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△532	△731
少数株主利益	1	0
四半期純損失(△)	△534	△731

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△532	△731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	0
為替換算調整勘定	△474	88
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	1
その他の包括利益合計	△479	90
四半期包括利益	△1,011	△640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,011	△641
少数株主に係る四半期包括利益	△0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	計測・計量機器事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	3,240	616	120	494	4,472
セグメント間の内部売上高又は振替高	369	17	9	408	804
計	3,610	633	130	902	5,277
セグメント利益又は損失(△)	77	△46	△20	26	37

	医療・健康機器事業					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	994	506	1,343	128	2,972	—	7,445
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,002	1	—	957	1,961	△2,766	—
計	1,996	507	1,343	1,086	4,934	△2,766	7,445
セグメント利益又は損失(△)	190	△29	36	△33	163	△294	△93

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△294百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△370百万円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	計測・計量機器事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	2,855	714	226	575	4,372
セグメント間の内部売上高又は振替高	413	67	16	570	1,068
計	3,269	781	243	1,146	5,441
セグメント利益又は損失(△)	△195	△59	△9	17	△245

	医療・健康機器事業					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	945	677	1,511	180	3,315	—	7,688
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,335	0	—	1,238	2,574	△3,643	—
計	2,281	678	1,511	1,418	5,890	△3,643	7,688
セグメント利益又は損失(△)	269	△30	△46	3	195	△345	△395

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△345百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△313百万円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。